

野菜・果物・乳製品などがズラリ  
農業まつりで横越の味を満喫

12月1・2日、役場正面駐車場を会場に、横越町農業まつりが開催され、町内外からたくさんの人たちが訪れました。この農業まつりは、町内の各種農業生産者たちが参加して、町内産の農畜産物をアピールするとともに格安で販売し、収穫を生産者と消費者がともに祝う毎年恒例のイベントです。

今回も、長いもやキャベツ、ゴボウ、レンコン、白菜などの新鮮な野菜、甘い果汁たっぷりの新興梨・洋ナシ、安全でおいしい豚肉、牛乳・チーズなどの乳製品、阿賀野川で獲れた川ガニ、漬け物や焼肉のたれなどの農産物加工品、おでん、まな板、チューリップの球根、花木などが所狭しと並びました。特別コーナーとして、1日には子豚の体重当てゲーム、2日には焼肉の試食、もちつきが行われたほか、大根・ゴボウ・ねぎ・豚肉など横越産の食材にこだわったあつあつの横越鍋が振舞われ、用意した500人分はすぐになくなってしまふほどの大盛況ぶり。また、農産物品評会には、梨、大根、ニンジン、ブロッコリーなどの生産者の自信作が展示され、訪れた人たちは見事な出来の野菜・果物を鑑賞していました。

2日間とも小雨まじりの寒い天候でしたが、会場内は、横越のおいしさを求める人たちの熱気が立ち込め、横越の味を満喫したまつりとなりました。



郡内各地区の老人クラブの代表が集まり  
中蒲原郡老人クラブ連合会指導者研修会開催

11月27日、サンウィング横越で中蒲原郡老人クラブ連合会（郡老連）指導者研修会が開催され、85名が参加しました。この研修会は、中蒲原郡内各地区の老人クラブ（加入者は約8,700名）の代表が集まり、指導者としての研修と交流を目的に毎年開催されているものです。

はじめに郡老連の大森会長から「大いに笑いを取り入れ、明日からの活動に役立てて下さい」とあいさつ。続いて亀田町生まれの落語家 水都家艶笑（みなとや えんしょう）師匠を招いて、「たまにはのんびり落語でも」と題して、健康や新潟弁などについて軽快な口調で落語が披露され、会場は笑い声に包まれました。その後、当町の右近教育長から「人生の達人として生きる」をテーマに講演が行われ、皆さん真剣に耳を傾けていました。



たまにはのんびり落語

人生の達人として生きる

地域社会のニーズに応えようと  
ふすま・障子張替え講習会

12月3日、町シルバー人材センターの主催により、「ふすま・障子張替え講習会」がサンウィング横越で開催されました。人材センターには、ふすま・障子の張替えの依頼が年間30件ほどあり、会員の知識・技能の向上と後継者の育成を図り、地域社会のニーズに応えようと毎年開催されています。

講習会には、初めて参加した人、腕を磨こうと毎回参加している人、センターの会員、一般のお年寄りなど55名が参加。地域の集落センターなどのふすま・障子戸を教材に、引手のはずし方、のりのつけ方や紙の貼り方などについて、参加者たちは講師の作業の様子を真剣に見つめ、指導を受けながら、カッターや刷毛（はけ）などを使って張替えに取り組んでいました。



町内初めての私立保育園  
保育園児、保護者、関係者たちが竣工を祝う

11月25日、「勇樹会 よこごしなかの保育園」（中野勇理事長）の竣工式が、うぐいす1丁目の同園で行われました。

勇樹会は、新潟市と亀田町に保育園・デイサービスセンター・在宅介護支援センターを運営している社会福祉法人で、「いろいろなことを、園児や保護者の皆さんと一緒に楽しみ、喜びたい」との方針から、竣工式には、勇樹会の他の保育園に通っている多くの園児や保護者も集まりました。中野理事長から「皆さんにお世話になりながら開園することができます。スタッフ一同がんばりますので、よろしく申し上げます」とあいさつがあったほか、多くの方々から祝いと期待の言葉が送られ、竣工を祝いました。

この保育園の定員は0～5歳児60名で、12月1日に開園しました。（平成14年度の園児募集は広報よこごし11月号で行いました。）



「師走です 無事故で一年 しめくり」  
街頭指導と飲食店訪問で交通事故防止を訴える

忘年会等による飲酒運転の増加、積雪・凍結等による道路交通環境の悪化などによって交通事故の多発が予測されることから、12月11日から12月31日まで、県下全域で「年末の交通事故防止運動」が実施されました。今回の運動の重点は「高齢者の交通事故防止」と「飲酒運転の追放」。

当町では、12月14日に川根町の国道49号で交通安全街頭指導が行われ、サンタクロースにふんした交通安全指導員、警察、交通安全母の会、ライオンズクラブなど50名がみぞれまじりの厳しい寒さの中で街頭に立ち、通行する車に止まってもらい、ドライバーたちに安全運転のチラシ等を配布。また、19日には、町安全運転管理者協会や交通安全指導員など25名が町内の事業所や飲食店を訪問し、「飲酒運転をしない、させない」よう呼びかけたほか、町内の巡回パトロールによって交通事故防止を訴えました。



あいさつする  
中野理事長→

保育園正面↓

地域住民と行政の間で活発な意見交換  
小杉で町政懇談会 開催

11月24日、小杉地区コミュニティセンターを会場に、町政懇談会が開催されました。懇談会には、町長ほか各担当課長が出席、地元から区長さんはじめ約30名が出席し、次のような要望が自治会から出され、町長や担当課長等から各要望に対する回答がありました。

そのほか、介護・福祉、講演会開催等についても意見交換が行われました。

■主な要望

- ・地区内道路の拡幅舗装、排水路整備、公園トイレの水洗化
- ・大阿賀橋交通信号の改善、防犯灯の新設・見直し
- ・公民館活動助成金の増額
- ・農政減反問題
- ・地域活性化

